

平成29年度事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

I. 平成29年度基本方針

第5次中期経営計画の2年目である平成29年度は、中期経営計画の微修正を図りつつ具体的な事業展開の実施に向けて、次の4つの基本方針のもと活動を行う。

1. 会員サービスの見直しと質の向上

協会事業の主目的である会員サービスの一層の充実に取り組み、さらなる会員満足度の向上を図っていく。各事業においては、多様な会員ニーズとSC業界を取り巻く環境に適切に対応しながら、内容の充実と参加機会の拡大を図る。その上で、激変する流通業界の将来を見越したSC業界の在り方等を念頭に置いた各種取り組みの検討を開始する。さらに、会員サービスの魅力向上のために、既存サービスメニューの見直しや質の向上を積極的に進める。また、引き続き、地方会員へのサービス機会の拡大と支部活動の活性化に向けた事業プログラムの充実を図っていく。

2. 人材確保対策への具体案の策定と会員SCでの実施促進

平成28年度に策定した「人材確保対策への取組み」を踏まえ、SC業界の人材確保対策のための情報収集と分析を進めるとともに、会員SCに向けた具体的な対応案の検討と提言を作成し、業界全体としてその実施に取り組んでいく。また、関連する委員会が連携し、キャンペーン等により、取組み気運の盛り上げを図る。

3. 公共的施策への取り組み強化

協会として求められる公共政策的施策に関する提言や各種行政情報等の発信について積極的に進め、会員ニーズに応える。

4. 東日本大震災・熊本地震復興への長期的な支援の継続実施

東日本大震災・熊本地震の復興への長期的な支援については、被災地の現状とニーズに合った継続的な支援活動に取り組んでいく。

Ⅱ. 会 議

1. 総 会

第 45 回定期総会(平成 29 年 5 月 25 日)

2. 理事会

第 1 回理事会(平成 29 年 4 月 26 日)

第 2 回理事会(平成 29 年 5 月 25 日)

第 3 回理事会(平成 29 年 10 月 27 日)

3. 企画会議

第 1 回企画会議(平成 29 年 10 月中旬予定)

第 2 回企画会議(平成 30 年 3 月下旬予定)

Ⅲ. 支部活動計画

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

支部名	活動計画
北海道支部	(1) 支部総会・懇親会(平成 30 年 2 月下旬～3 月中旬) (2) 運営委員会 (3) SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(11 月 10 日 プラニスホール) (4) 支部主催セミナー
東北支部	(1) 支部総会・講演会・懇親会(平成 30 年 2 月下旬) (2) 運営委員会(6 月、10 月、平成 30 年 2 月) (3) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会 (11 月 1 日～2 日・ホテルメトロポリタン仙台) (4) 研修会 I ロープレ事前研修会(9 月下旬～10 月上旬) (5) 研修会 II 秋の研修会・懇親会(10 月上旬～中旬)
関東・甲信越 支部	(1) 支部総会・講演会・懇親会(平成 30 年 2 月下旬) (2) 運営委員会(6 月、12 月、平成 30 年 2 月) (3) SC接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会 ①関東・甲信越地区(9 月 5 日～8 日、9 月 11 日～12 日・KFCホール) ②東京地区(9 月 25 日～9 月 28 日・KFCホール) (4) SC業界若手育成研究会 (5) 単館SC研究会 (6) 支部主催研修会(1 回) (7) 支部主催SC視察会(1 回)
中部支部	(1) 支部総会・講演会・懇親会(平成 30 年 2 月) (2) 運営委員会(7 月、11 月、平成 30 年 2 月) (3) 接客ロールプレイングコンテスト中部大会 (10 月 11 日～13 日・名古屋市中小企業振興会館) (4) 支部主催セミナー(11 月)
近畿支部	(1) 支部総会・講演会・懇親会(平成 30 年 3 月上旬) (2) 運営委員会(7 月、12 月、平成 30 年 2 月) (3) 研修会(1 回) (4) SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10 月 2 日～5 日・ホテル京阪京橋) (5) SC研究会(4 回 年間テーマを設定し、討論会や研修会を実施する) (6) 単館SC研究会(1～2 回)
中国・四国 支部	(1) 支部総会・記念講演会・懇親会(平成 30 年 2～3 月) (2) 運営委員会(7～8 月、11～12 月、平成 30 年 2～3 月) (3) 支部共催セミナー(11～12 月) (4) SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 (11 月 7 日～9 日・広島YMCAホール)
九州・沖縄 支部	(1) 支部総会・講演会・懇親会(平成 30 年 3 月) (2) 運営委員会(7 月、平成 30 年 3 月) (3) 研修会(7 月) (4) SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会 (11 月 14 日～16 日 西鉄ホール) (5) 西南学院大学冠講座(4 月～7 月)

IV. 委員会事業計画

1. 総務委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

- (1) 平成 29 年度予実算管理の徹底
- (2) 支部、委員会の各事業の進捗状況の把握及び総合調整
- (3) 2016 中期経営計画(平成 28～31 年度)の進捗状況の把握
- (4) 人材確保対策への取組みの推進
- (5) 会員サービスの向上に努め、会員数 980 社を目標とする
- (6) SC大賞・地域貢献大賞制度の検討

2. 公共政策・環境委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

公共政策・環境委員会は、SC業界の健全な発展に必要な各種制度の整備や阻害要因である各種規制の改善などを政府機関などに提言する、または政府機関などから要請のあった事案について連携、協力するなど幅広い活動を行う。

平成 29 年度の協会基本方針にある「東日本大震災・熊本地震復興への長期的な支援の継続実施」や税制改正要望、さらには平成 31 年 10 月施行予定の消費税率アップに伴う軽減税率の研究などを行うとともに、公共政策的施策に関する提言や各種行政情報等の発信についても積極的に進め、会員ニーズに応える。引き続き、電力等エネルギー使用量実態調査を実施するとともに、省エネ等SCの環境政策に役立つ情報提供を行う。

2. 事業計画(骨子)

(1) 東日本大震災・熊本地震復興への長期的な支援の継続実施

東日本大震災・熊本地震復興支援については、これまで行ってきたSCビジネスフェアにおける復興応援コーナーなどを継続して協力する。

(2) 平成 30 年度税制改正要望

平成 29 年度の税制改正要望項目であった訪日外国人向け免税制度のさらなる改正等について研究する。

(3) 公共的施策への取組みの強化

政府施策に協力、必要に応じて各支部で公共政策的施策の説明会を開催する。

(4) 人材確保対策への取組み

「販売職への外国人労働者の門戸開放」については他団体と協力して関係省庁に働きかける。

(5) 「心のバリアフリー」の取組みへの協力

内閣官房が進めている 2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けての「ユニバーサルデザイン化・心のバリアフリー」の取組みに協力する。具体的には、経済産業省が進めている流通業における接客マニュアルの作成に協力する。

(6) 消費税に関する研究

消費税の税率を10%に引き上げる時期及び軽減税率導入時期が平成 31 年 10 月 1 日に延期されたことに伴い、引き続き軽減税率に関して情報収集を図り研究を続けていくとともに、価格表示の方法(総額表示及び外税表示方式)についても同様に研究を続ける。

(7) 地方自治体や地域物産協会などとの連携

現在、単館SC研究会を通じ物産展を開催するSCがあり、協力して物産展を開催するSCを開拓する。

(8) ベンチマーク制度創設について

業務部門の他業界ではベンチマーク制度の導入が進んでいる。SC業界においても、同制度の導入が不可避と考えられるので、その詳細についてワーキンググループを設置して検討、経済産業省資源エネルギー庁と協議する。

(9) 平成 29 年度エネルギー量実態調査(平成 28 年分)の実施及びSCの省エネ・節電等の情報提供

エネルギー量実態調査を実施、経済産業省に報告するとともに、SCの省エネ・節電の先進事例等の情報提供をセミナー・HP等を通しておこない、省エネ・節電対策を進める。

(10) 生活者と協働した環境問題への取組み

引き続き会員企業にクールシェア・ウォームシェアへの協力を依頼する。

3. 国際委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

平成 29 年度は当委員会の活動テーマである、「インバウンド(訪日客)」「アウトバウンド(海外事業展開)」「国際交流」の 3 つの軸を押さえながらも、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、あるいはポスト五輪を見据えて、必要となる研究や情報提供などを行う。また、SCビジネスフェアの海外ディベロッパー誘致について、国際交流の機会を積極的に活用して支援を行う。

ところで、当委員会は平成 25 年度に設置された後、インバウンド対策の一環として 27 年度にスタートした免税手続代行カウンターを SC に設置するために、活動の多くを費やしてきた。これが一段落したこともあって、平成 29 年度は今後の活動内容について改めて検討する。

2. 事業計画(骨子)

(1) インバウンド(訪日客)に関わる研究・対策等について

- 1) 平成 27 年 4 月から導入された免税手続代行カウンターの普及調査を継続して行うほか、カウンター普及推進のために平成 30 年度税制改正要望を、公共政策・環境委員会と連携して提出する。
- 2) 東京オリンピック・パラリンピックに向けてさらに訪日外国人旅行者の増加が見込まれるなか、SC におけるインバウンド対策について研究を深めるとともに情報提供を行う。

(2) 海外事業展開(アウトバウンド)に資する情報の提供について

アウトバウンドに資する情報の提供の一環として、SCビジネスフェアの海外ディベロッパー誘致を支援する。10 月開催予定の「APRC (Asia-Pacific Research Council Meeting)」や「REConアジア」、「CA SC」に出席して現地関係者とコンタクトを取り、SCビジネスフェア 2018 への来場をすすめる、実際に見てもらい、SCビジネスフェア 2019(翌年度) 出展をすすめる。

(3) 国際交流について

海外で開催される国際会議などにおいて、アジア各国の SC 団体との交流を通じて情報収集する。引き続き、各国 SC 団体等の日本へのスタディーツアーの際には協力するとともに、相互交流を検討していく。

(4) 今後の活動内容について

平成 25 年度に当委員会が設置された後、インバウンド対策の一環として 27 年度にスタートした免税手続代行カウンターを SC に設置するために、活動の多くを費やしてきた。これが一段落したところで、平成 29 年度は今後の活動内容について改めて検討する年度とする。

4. 人材育成委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

2016 中期経営計画(平成 28～31 年度)の重点課題の一つに「教育研修プログラムの内容と受講方法の検討」を掲げた。これを受けて平成 28 年度は、変化する社会経済情勢とマーケットニーズを的確に把握しつつ、SC経営の現状における課題抽出と解決策を提供する場を、セミナー、通信教育などのツールを使い、会員ニーズに合った人材育成プログラムの提供に努めてきた。

平成 29 年度は、SCを取り巻く厳しい環境が続く中で、会員に向けて即効性があり、かつ実務的な課題解決策を提供できる企画を立てるとともに、今後の方向性を考えるうえでヒントとなるような内容を提供していく。

○「セミナー」は人材確保、インバウンド対応などSC業界の重点テーマを継続的に取り上げ、年間 44 本実施する。

○「海外研修」は最新SCや専門店、まちづくりなど注目される都市を選定するとともに、目的、テーマを明確にし、4 本催行する。

○「SCアカデミー」は第 10 期で実施した「SC序論(合宿研修)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」は継続し、「特別研修」に代わり、新たに「特別演習」を実施する。

2. 事業計画(骨子)

(1)セミナー

定番セミナーのほかに、SC業界が昨今抱える課題である、1)人材確保、2)オムニチャネル対応、3)人口減少、高齢化が進行するなかでのSC機能のあり方、4)テナントミックスやテナント新業態開発などのテーマを取り上げる。

なお、「人材育成委員会所管事業の位置づけ」に示されたように、ディベロッパーやテナント経営幹部向けを対象としたセミナーが手薄となっていることから、この分野の企画を検討する。

平成 29 年度は上記を踏まえ、次の 4 点を重点施策として掲げ、44 本のセミナーを実施する。

- 1) SC 業界重点テーマの実施(人材確保、インバウンド対応、オムニチャネルなど)
- 2) テナント企業向けセミナーのさらなる充実
- 3) 定番セミナーの精査
- 4) 経営幹部向けセミナー企画の検討

なお、セミナー開催にあたっては会員企業の課題解決の場であるとともに、ネットワークを広げる場となるように意識する。

	開催予定日		セミナータイトル
1	4月	27・28日	SC基本管理運営セミナー
2		24日	インバウンド対策セミナー～事例編～
3	5月	31日	SC出店契約書作成セミナー
4		下旬	SCテナントミックス・リーシングセミナー
5		7日	SC施設管理セミナー
6		14日	新入社員向けフレッシュャーズセミナー
7	6月	15日	テナント向け法律セミナー
8		21日	SC事業戦略セミナー 第1回
9		22日	SC事業戦略セミナー 第2回
10		29日	EC対策セミナー(オムニチャネル他)
11		6日	リーシング担当者ステップアップを目指す 第1回
12	7月	13日	リーシング担当者ステップアップを目指す 第2回
13		20日	リーシング担当者ステップアップを目指す 第3回
14		27日	SC法律セミナー
15		2・3日	SC緑陰トップフォーラム(函館)
16	8月	23日	SC運営の基礎知識を学ぶ 第1回「SC管理運営の基礎知識」
17		30日	SC運営の基礎知識を学ぶ 第2回「SCテナント営業管理の基礎知識」
18		31日	SC販促・イベントセミナー
19		6日	SC運営の基礎知識を学ぶ 第3回「SC販売促進の基礎知識」
20		13日	SC運営の基礎知識を学ぶ 第4回「SCテナントミックス、リーシング、出店契約の基礎知識」
21	9月	20日	SC運営の基礎知識を学ぶ 第5回「SCテナント更新、リニューアルの基礎知識」
22		21日	SC新規開発・リニューアルに向けたマーケット分析手法セミナー
23		27日	飲食・食品ゾーン活性化セミナー
24		28日	危機管理対策セミナー(食の安全管理)
25		11日	SC契約セミナー
26	10月	19日	顧客情報活用セミナー(IT、ポイントカード活用)
27		26日	人手不足対策セミナー(ESの取り組み他)
28		31日	固定資産管理の基礎知識と会計・税務上の基礎知識
29		7日	SC秋晴れトップフォーラム
30	11月	16日	まちづくり・地域活性化セミナー
31		21・22日	SC基本開発セミナー
32		30日	危機管理対策セミナー
33	12月	1日	SCクレーム対策セミナー
34		6日	SCにおけるテナント従業員教育セミナー
35		8日	プロモーション担当者ステップアップを目指す 第1回
36	2月	9日	プロモーション担当者ステップアップを目指す 第2回
37		15・16日	SC基本管理運営セミナー
38		22日	ショップマネジメント力強化セミナー
39		1日	SC契約実務対策セミナー
40		8日	テナント向けクレーム対策セミナー
41	3月	14日	SCマネジャー交流セミナー(現地視察)
42		16日	SCリニューアルセミナー
43		22日	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す 第1回
44		23日	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す 第2回

(2)海外研修

「海外研修」は最新SCや専門店、まちづくりなど注目される都市を選定するとともに、目的、テーマを明確にし、次の4本を催行する。

- ①米国初心者・初級者向け、定点観測の意味も含めて“定番化”を図る「米国西海岸」
- ②話題の専門店等やトレンドが分かる、注目度の高い「米国東海岸」
- ③まちづくりで注目される「欧州」
- ④SC開発が顕著な「アジア」

なお、「欧州」と「アジア」については、治安の状況あるいは募集旅行価格などを踏まえて慎重に検討させていただく。

1) 催行本数 平成 29 年度は、4 本を催行する。

2) 訪問国 上記を踏まえ、平成 29 年度は以下の方面で催行する。（*実施時期は検討中）

実施時期	訪問先	テーマ	コーディネーター
9月～10月	欧州(ロンドン他)	まちづくり& SC・専門店	小嶋 彰 氏 (㈱船場 顧問)
11月第4金曜日～12月	米国東海岸(ニューヨーク他)	米国SC、専門店&ブ ラックフライデー	ジェイ広山 氏 (Office J.K. Int'l 代表取締役)
2018年2月	アジア (マニラ他)	ASEANのSC開発事情	山口 壮一郎氏 (YAMA PTE LTD 代表) または 小嶋 彰 氏 (㈱船場 顧問)
2018年3月	米国西海岸(ロサンゼルス他)	米国SC、専門店 (入門編)	若林 哲史 氏 (㈱エレガント・サティ 取締役社長) または ジェイ広山 氏 (Office J.K. Int'l 代表取締役)

(3)通信教育

- 1) 主に新入社員や入社 (SC業務歴) 5 年以内の方、基本を再確認したい方たちを主な対象として、SC開発及びSC管理運営の基本を学ぶことができるプログラムとする。
- 2) テキストやレポートの特色などを受講者募集パンフレットでわかりやすく伝え、SC経営士試験受験者を含めてSCについて学習をしたい方々に紹介する。
- 3) SC開発講座およびSC管理運営講座の共通テキストである「総論」と「SC主要関連法規集・データ」の改訂版を発行する。

(4) SCテナントスタッフハンドブック

- 1) 「SC接客マイスター検定試験」に合わせ、参考図書として告知を強化し、販売数増加に努める。
- 2) ディベロッパーの新人向けに、テナントとのコミュニケーションツールとしてすすめる。

(5) サポート関連(研修講師派遣)

- 1) SC接客RPコンテスト及びSC接客マイスター試験の実施に合わせて、提携プロダクションと協力して新人役者の育成を強化している。平成 29 年度もそれを継続し、とくに関西地区の役者の人数増加に努める。
- 2) テナント店長・スタッフ向け研修カリキュラム、ディベロッパー向け研修カリキュラムを充実させる。SCへの講師紹介、賛助会員企業への研修の場の提供など、会員サービスとして位置づけ、一層告知を強化し、件数増加を図る。

(6) SCアカデミー

- 1) 平成 29 年度に第 11 期目を迎え、WGグループからの提案を基本として、講義内容や方法をよりアップデートなものとする。
- 2) 第 11 期では第 10 期で実施した「SC序論(合宿研修)」、「SC総論 I」、「SC総論 II」、「SC経営実践論」、は継続する。「特別研修」に代わって、新たに「特別演習」を実施する。
- 3) ゼミ形式を継続し、少人数でのディスカッション、卒論指導などを実施する。
- 4) 12 年目に向けてカリキュラムの再検討を行う。

5. 情報委員会

1. 平成 29 年度基本方針

SC業界を取り巻く環境は、少子高齢化による人口減、ECの伸長、訪日外国人客の消費行動の変化、大都市と地方の格差、所得の2極化など厳しい状況が続いている。また、シェアリングエコノミーという、モノやサービスの利用において「所有から共有」への意識が若年層を中心に浸透し利用者が増えていることや、SNSの進展で個人が手軽に情報発信して繋がっていく事象はインターネット上で完結しており、現物を手にしたり新商品やサービスを発見・体験の‘場’という実店舗の利点が薄らいでいることは否定できないだろう。

このように日々変化する時代のなか当委員会では、SCがどのような立ち位置で強みを見せて関わっていくのか、業界発展に向けて役割を再認識し、寄与していく。具体的には、SC業界唯一の情報誌、月刊「SC JAPAN TODAY」やWebサイト等を通じて、他委員会との連携に留意しつつ、会員視点に立った情報発信を継続していく。また、広報活動を通じてマスコミらに、SC業界の動向及びSC協会の活動状況を発信する。

2. 事業計画(骨子)

(1) 月刊誌

- 1) 月刊誌の年間計画の5軸(*)を基準に、タイムリーな情報と実務者向け、ケーススタディを掲載して、充実させる。
- 2) 他業種、異業種の事例も積極的に掲載。
- 3) デジタル化への検討(電子書籍化等)。

*5軸:①消費動向、②人材確保対策、③危機管理対策、④最新設備・技術革新、⑤グローバル

(2) 広報

- 1) プレスリリースをタイムリーに発信するとともに内容の充実を図る。
- 2) 定例記者懇談会を夏(7月)と冬(12月)に開催し、報道関係者にSC業界の動向及びSC協会の活動状況を発信するとともに、協会役員と報道関係者との懇親を深める。

(3) Web

- 1) 協会HPのさらなる充実と、SNSなどを通じて協会イベントの情報発信について、頻度の向上を図る。
- 2) 会員サービス向上に月刊誌特集記事の掲載を検討する。
- 3) 日本のSC情報を海外に発信するため、内容を充実させる。

6. 調査研究委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

調査研究委員会が所管する販売統計、賃料・共益費実態調査を始めとする各種調査統計は、SC業界の全体像を明らかにする基礎資料として、業界関係者はもちろんのこと政府統計機関、研究機関、さらにはマスコミなどで活用されている。とくに、日本全体の小売業販売額に占めるSC売上額は 20%を超えるほどに成長しており、SC業界の動向は各方面から注目される場所である。このように各方面から注目されている調査資料についてより一層の精度向上を図る。

このほか、平成 29 年度は平成 28 年度に着手した新版SC用語辞典の改訂版作成の準備を引続き進める。

2. 事業計画(骨子)

(1) SC販売統計調査

販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を実施するとともに、夏期バーゲンや、年末年始の販売動向調査を行う。また、精度向上のためサンプル数の増加に取り組む。

(2) SC賃料・共益費実態調査 2017

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料を調査してきたが、平成 28 年度の調査結果を受けて、さらにサンプル数の増加を目指す。

(3) SC白書 2017 の発刊

SC業界の 2016 年の基本データや地域貢献、海外動向等を掲載し、5/25 の定期総会時に発刊する。

(4) SCオープン、計画情報およびSC基礎データ一覧の更新

会員のページに、SC計画情報は毎月、SC基礎データは年 1 回(6 月)に更新を行う。

(5) SC用語辞典改訂

前回の平成 22 年の改訂以降に加わった新用語の追加や現行用語の修正、削除等を行い、SC用語辞典としての特色をさらに高める。平成 29 年度(2017 年度)は引続き改訂準備を進め、平成 30 年度の定期総会にて発行する予定。

(6) 人材確保に関する定量調査の実施

平成 27 年度から毎年実施している「人材確保に関する定量調査(ディベロッパー、テナント)」について平成 29 年度も継続調査として実施する。

(7) 資料室の整備

会員が資料室の各種資料を活用し易くなるよう、資料室の整備に取り組む。

7. SC経営士委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

SC経営士制度発足から 25 年が過ぎ、比較的若い企業内経営士が多数を占めるようになってきている。この様な状況の下、今後のSC経営士制度(試験制度を含む)のあり方、方向性等について見直しに着手する。

2. 事業計画(骨子)

(1)SC経営士委員会実施事業

- 1) SC経営士制度(試験制度を含む)のあり方の検討
- 2) SC経営士認知度向上の取組み強化
- 3) 第 26 期SC経営士試験の実施
- 4) 平成 29 年度SC経営士更新講習の実施

(2)SC経営士会へ委嘱事業

1) 冠講座への協力

《平成29年度冠講座実施予定》

実施時期	大学名
前期	西南学院大学
前期	桃山学院大学

2) SCビジネスフェア 2018 無料セミナー

第 42 回日本SC全国大会 SCビジネスフェア 2017
開催日程・・・2018 年 1 月 24 日(水)～26 日(金)
無料セミナー 主催者企画においてパネルディスカッションの実施

3) SC経営士会活動記録制作

平成 28 年度の活動記録を制作する。
完成時期・・・平成 29 年 5 月末

(3)SC経営士会実施事業

1) 平成 29 年度SC経営士会活動方針

- ① SC経営士相互の研鑽と交流
- ② SC経営士委員会から委嘱された事業の遂行

2) 活動計画

- ① SC経営士相互の研鑽と交流
 - i) 研鑽・交流会の開催について
年 4 回 春の例会、夏の例会、秋の例会、冬の例会(年次ミーティング)
 - ii) 各ブロックは交流・親睦に主眼をおき活動する
各ブロックの独自発案企画は幹事会と連携し、実施に関しては経営士会全体へと波及させる

8. 全国大会実行委員会

1. 平成 29 年度(第 42 回) 基本方針

ショッピングセンター(SC)業界は 消費行動の大きな変化、人手不足などの課題やAIやICTなどテクノロジーの急進により、取り巻く環境の変化が加速している。

そのようななか、平成 28 年度の日本ショッピングセンター全国大会は、「革新と共生が未来を切りひらく」を統一テーマに掲げた。

引き続き大きな転換期にあるなか、平成 29 年度は、「革新と共生が未来を切りひらく ～SCから元気発信～」とサブテーマをつけ、未来に向けたSC業界の最大のイベントとし、シンポジウム・セミナーとSCビジネスフェアが一体となり、さらなるステータス向上を目指す。

2. 事業計画(骨子)

(1) SCビジネスフェア

- 1) SCビジネスフェア 2018 では、SCビジネスフェアとして展示規模 530 小間程度(SC業界研究イベントを含む)、入場登録者数 14,500 人(延べ 61,000 人)を目標とする。
- 2)「ビジネスに結びつく」という基軸に沿って、さらに進化させるような企画や運営を検討し、内容を充実させる。
- 3)前記を受けて、具体的には展示ホール内の有効活用や、ディベロッパー・テナント・サポート企業のゾーニング、来場者視点なども考慮し、交流コーナーの位置や交流促進の方法等、改善を加えていく。
- 4)出展募集にあたって、海外DVゾーンの設置に向けて取り組む。また、新規テナント企業の出展増を目的に、新コーナーの設置など検討する。
- 5)出展者交流パーティーについて、従来のスタイルを継続するか、新たな試みで行うかについて検討する。
- 6)併催で、学生向けのSC業界研究イベントを実施する。

(2)シンポジウム・セミナー(有料・無料セミナー)

- 1)有料セミナープログラム企画について、時代に合ったタイムリーな講座を検討し、有料セミナーの主たる参加者の経営者層にとって、通常セミナーでは聴くことができない講座を用意し、満足度向上を図る。
- 2)基調講演の講師については、SC業界のみならず他業界の著名人にご講演いただけるよう企画する。
- 3)SCビジネスフェア会場内で実施する無料セミナーについては、従来通りの出展者プレゼンテーションと主催者企画の二本立てとし、特に主催者企画では、現場の実務担当者を主な対象とした講座を用意する。

第42回日本ショッピングセンター全国大会 概要

1. 会 期 2018年1月24日(水)～26日(金)
2. 会 場 パシフィコ横浜
3. 参加者 会員企業を中心としたSCディベロッパー、テナント、SCサポート企業、官庁、関連団体の方々、学生
4. 主 催 (一社)日本ショッピングセンター協会
5. 後 援 経済産業省、国土交通省、農林水産省、横浜市、日本経済新聞社、織研新聞社、産業タイムズ社(順不同)
6. 協 賛 日本商工会議所、日本小売業協会、全国商工会連合会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(一社)日本専門店協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、(一社)新日本スーパーマーケット協会、(一社)日本ボランタリーチェーン協会、日本スーパーマーケット協会、(一社)日本フードサービス協会、日本チェーンドラッグストア協会、全国地下街連合会、(一社)不動産協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、全国商店街振興組合連合会、協同組合連合会日本専門店会連盟、(公社)商業施設技術者・団体連合会、(一社)日本商環境設計家協会、(一財)流通システム開発センター、(一社)再開発コーディネーター協会 (順不同)
7. 主な公式行事
 - ・オープニングテープカット
 - ・懇親パーティー
 - ・SCビジネスフェア出展者交流パーティー
 - ・SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会表彰式

●SCビジネスフェア 2018

(SCビジネスフェア、有料・無料セミナー)

会期 2018年1月24日(水)～26日(金)

会場 展示ホールA・B・C、アネックスホール

メモ SCビジネスフェアは、展示ホール(13,300㎡)に多彩な企業がブースを構えるSC業界唯一の商談展示会。有料・無料セミナーは、アネックスホールにて懇親パーティー、有料セミナーを、展示ホールにて無料セミナーを開催。学生向けSC業界研究イベントを併催。

●第23回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

会期 2018年1月26日(金)

会場 会議センター 1階 メインホール

メモ 支部大会を勝ち抜いた接客のスペシャリストが集い、“SC接客日本一”を決定するSC業界テナントスタッフ対象のロールプレイングコンテスト。

9. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 平成 29 年度 基本方針

SC接客マイスター実技試験の本格稼働の開始にともない審査の平準化を目的とし、昨年度から導入した接客ロールプレイングコンテスト新審査基準の専門審査員へのさらなる周知徹底と、導入後の関係者からのフィードバックに基づいた運用面での改善対応を行う。

また、関東・甲信越大会、東京大会、全国大会で導入したコンテスト当日運営の外部委託が成功裡に終了したため、規模の大きい大会については引き続きよりスムーズな運営を目指し導入する。

そして、協会平成 29 年度基本方針に準拠した活動として、現状の接客ロールプレイングコンテストが抱える事業収支構造の問題点を改善すべく具体的な対応案の検討をすすめる。

SC接客マイスター試験に関しては本格稼働 2 年目として、昨年度の実技試験採点結果から、7 支部大会別会場開催時のさらなる実技審査の平準化を目指す。筆記試験に関しては、よりスムーズな運営を目指す。

2. 事業計画(骨子)

1) ロールプレイングコンテスト

①支部大会

大会名	日程	会場	申込締切日	競技順・スケジュール公表日
関東・甲信越大会 <small>(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、長野)</small>	9月5日(火)～8日(金) 9月11日(月)・12日(火)	KFCホール (国際ファッションセンター)	7月24日(月)	8月9日(水)
東京大会 <small>(東京)</small>	9月25日(月)～28日(木)	KFCホール (国際ファッションセンター)	8月9日(水)	8月28日(月)
近畿大会 <small>(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)</small>	10月2日(月)～5日(木)	ホテル京阪京橋	8月17日(木)	9月4日(月)
中部大会 <small>(富山、石川、岐阜、愛知、三重、静岡)</small>	10月11日(水)～13日(金)	メインホール (名古屋市中小企業振興会館)	8月25日(金)	9月13日(水)
東北大会 <small>(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)</small>	11月1日(水)・2日(木)	ホテルメトロポリタン仙台	9月20日(水)	10月6日(金)
中国・四国大会 <small>(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)</small>	11月7日(火)～9日(木)	広島YMCAホール	9月21日(木)	10月10日(火)
北海道大会 <small>(北海道)</small>	11月10日(金)	JRタワープラニスホール (札幌エスタ)	9月26日(火)	10月13日(金)
九州・沖縄大会 <small>(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)</small>	11月14日(火)～16日(木)	西鉄ホール (ソラリアステージ)	9月29日(金)	10月18日(水)

※各会場ともに参加者数に応じて開催日数が変更になる場合があります。また、「競技順・スケジュール公表日」は、前後する可能性がございます。

②全国大会

- ・開催日…2018年1月26日(金) (第42回日本SC全国大会3日目)
- ・会場…パシフィコ横浜

2) SC接客マイスター

①2017 試験スケジュール

